

## 2021年12月議会 一般質問

コロナ感染者数が激減し、やっと日常生活が平穩に過ごせると期待が高まったところで、新たな変異株（オミクロン株）が発生しました。岸田総理はいち早く11月29日、外国からの入国を1ヶ月、原則禁止すると宣言しました。

日本株式市場が開かれている場中でしたので、一気に500円近く日経平均が下がってしまいました。

しかし、今回の変異株危険性がまだ、はっきりしませんが、早い決断と医療体制強化を指示したことは個人的に評価したいものです。

11月26日には、臨時閣議で**2021年度補正予算案**が決まりました。一般会計の歳出は**35兆9895億円**で補正予算として過去最大です。

### 経済対策の4つの柱として

- ・「新型コロナ感染拡大防止」-----18兆6059億円
- ・「社会経済活動の再開と次の危機への備え」 --- 1兆7687億円
- ・「新しい資本主義起動」----- 8兆2532億円
- ・「防災・減災など安全・安心の確保」----- 2兆9349億円

経済対策の追加歳出は31兆5627億円でした。

自治体に配る地方交付税交付金として3兆5117億円が追加されました。

(11/26 読売新聞)

財源となる歳入の不足分22兆580億円は国債を発行し、この予算案は12月6日に召集される臨時国会に提出することになりました。

○ 岸田総理の当初立候補時政策理念は以下の項目でした。

1. 所得倍増
2. 分厚い中間層の実現
3. 新自由主義からの決別
4. 成長と分配の好循環を導く
5. 経済安全保障
6. 均衡ある国土の発展
7. 資本主義から**公益資本主義**への転換

しかし、今回は「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、「新しい資本主義」実現に向けた成長戦略の最も重要な柱としました。

そして「デジタル田園都市国家構想実現会議」のメンバーに竹中平蔵氏を任命し、所得倍増計画の名前がなくなりました。

当初と大分変わってきたようです。

ここで、主な日本経済データを調べてみます。

## 1. 日本のGDPについて

1997年時、ピークを迎えた日本のGDPは米国の半分強ありましたが、その後、停滞が続いております。

1997年：543兆円 日本平均給与：467万円

2020年：539兆円 日本平均給与：433万円

その間、他国は成長を続け、2020年度において、下記のように、米国は日本の4倍、中国は約3倍の規模に成長しております。(単位:兆ドル IMF)

① 米国：20.894 (414%) ② 中国：14.867 (295%) ③ 日本：5.045

急速に成長し続ける世界各国の中で「唯一停滞している先進国」という特殊な国になってしまっています。

では、日本のGDPを上げるにはどうしたらよいのでしょうか？ 一般的に

- ① 政府が財政支出をどんどん増加し
- ② 民間企業が投資を増大させ
- ③ 人々がどんどん消費活動を拡大させればGDPは増加すると言われております。

## 2. 日本国債について

◇ 2021年6月末の日本国債発行残高は1,056兆4,141億円。

保有者別をみてみますと (参照:円グラフ)

- ・日本銀行……………48.2% (509.0兆円)
- ・生損保等……………20.6% (218.0兆円)
- ・銀行など……………14.7% (155.6兆円)
- ・海外……………7.2% (76.4兆円) となっております。

◇ 日本政府が発行している「国庫短期証券（T-Bill）は 167.5 兆円で海外投資家の比率は 51.0%（85.4 兆円）となっております。

◇ 国債と国庫短期証券を合わせた合計は 1,223 兆 8,705 億円となり、海外保有率は 13.2%（161.8 兆円）で、海外保有比率が 20%に達するまでには後、6.8%の余裕があります。

今回の補正予算を実行すると更に 30 兆円の国債が増加すると対 GDP 比率が更に悪化することになります。

◇ 日本の政府債務残高対 GDP 比率は 254.13 とベネズエラ（304.13）、スーダン(272.92)に次いで 3 位となっております。  
（2021/10/13 グローバルノート 世界の政府債務残高対 GDP）

3. 11 月 11 日の企業物価指数の発表によれば 40 年 9 ヶ月ぶりに 8.0%上昇しました。資源価格の高騰が大きく寄与しているようです。

また、新たな変異株「オミクロン株」の出現により、再度医療危機と経済混乱が危ぶまれ、各国の株式市場価格が低下し始めました。

これから先、ガソリン価格高止まりと円安の中で、輸入品価格の上昇に伴い、各種物価の上昇が始まり、日本国民の生活が更に苦しくなりそうです。このような状況の中で以下の質問を致します。

① 大島町においては今後どのようなことに重点的経済政策を行うのか？  
具体案をお知らせください。

② 今後の大島町発展のための施策として以下の提案を致します。  
資金繰りが大変なのは充分わかっておりますが、対策を実行しなければ、更なる発展は見込めません。可能性についてお答えください。

提案 1. 観光に関わる飲食・宿泊・関連業者開業への補助

高齢化人口の増加により、宿泊業者の素泊まりの宿が増えております。それに反して、飲食業者が減ってきております。

新規開業に向けての資金補助制度を設け、促進するよう要望いたします。

## 提案2. 空き家住宅利用への補助金の増額

移住を望む方を対象に100万円以上の補助額を要望します。

空き家住宅を改築するにあたり、当面の資金繰りの手助けになれば、決断する方が増えると考えます。

## 提案3. 奨学金制度の見直しと増設

「新しい資本主義」実現に向けた成長戦略重要項目として、岸田政権が「デジタル田園都市国家構想」を掲げていますが、地域・地方の人材不足があります。

大島町においても、新しい人材確保として学費補助を希望する学生に対し奨学金枠や対象人数を増やし、卒業後大島で就業する場合は返済免除をするなどの減免制度を設け、人材確保を図られることを要望いたします。

- ・卒業後大島の企業で就職し、2年間経過したら返済免除等システムを作成
- ・今日まで、奨学金受給者中、大島で働いている方は何人おられますか？

## 提案4. 三原山登山口に向けての「三原山マラソン大会」開催

大島を代表する三原山を冠に頂上へ向けて競技を行い、宣伝を兼ね参加を集う。また、関係者から協賛金を募集し、上位者に賞金を与え、表彰し、優勝者及び記録を石碑等に残し次回優勝者を追記する。

## 提案5. 観光促進に関する町民からのアイデアの募集

一般からアイデアの募集を行う。採用時は広報に載せて表彰する。これにより、町民への意識の向上につながり観光への関心も高まると考えられます。

また、役場内においても提案制度を設けられては如何でしょうか？

以上